

主要施策名:(1)自然環境の保全

事務事業本数:4

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
①自然と暮らしを守るふるさとづくり	(1)自然環境の保全	(2)河川環境の保全	112-1	環境保全啓発事業	環境整備課
			112-2	環境調査監視事業	環境整備課
			112-3	菊池川流域同盟事業	環境整備課
			112-4	用悪水路整備事業	土木課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 廃油石けんの普及事業	廃油石けんの原料を関係団体へ支給する。	凝固剤支給量	本	46	103	84	200
② EM活性液・ぼかしの普及事業	EM活性液、ぼかしの原料を関係団体へ支給する。	培養液支給量	本	8	8	9	20
③ 河川水援隊事業	河川水援隊に定期的な河川の水质検査、監視を委嘱する。	水质検査延べ日数	日	288	288	288	288

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 河川環境保全啓発活動参加者数	川の生き物調査など河川の保全・浄化啓発に関する活動に参加した延べ人数	人	500	500	500	500
2			434	411	437	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 環境基本法の基本理念にのっとり環境保全の啓発を積極的に推進する必要がある。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 現状、必要ない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり 即時影響がでることはない。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 施設の老朽化や利用団体メンバーの減少、新型コロナウイルスまん延防止対策による事業の中止が原因と考えられる。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 現状、適当である。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 細事業毎の実績により軽微な増減はあるが、最低限のコストを維持している。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現状維持で問題ない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現状、必要としない。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり R5年度から事業の統合を検討している。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 現状の負担水準でよい。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) 河川の主な汚濁源は生活排水であり、市民団体による廃油石けんづくりや河川水援隊による定期的な監視など河川の汚濁防止・浄化につながる啓発活動を通して、引き続き市民への河川環境保全意識の高揚を図っていく。また、令和8年度を目途に行う天水石けん加工施設他施設との集約化も引き続き検討していく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 河川の主な汚濁源は生活排水であり、市民団体による廃油石けんづくりや河川水援隊による定期的な監視など河川の汚濁防止・浄化につながる啓発事業を通して、引き続き市民への河川環境保全意識の高揚を図っていく。天水石けん加工場は他施設に機能の一部を移設した後、令和7年度までに解体することを検討している。また社会情勢の変化により事務事業の統廃合を検討しており、継続すべき細事業の受入れ等を図る。
今後の方向性 【25】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	終了(統廃合)を検討している事務事業「ふるさと玉名の環境づくり事業」の環境教育事業等の一部細事業を受入れ、事業の継続を図る。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	河川水援隊による河川監視や市民団体による浄化活動を支援することにより美しく豊かな河川を次世代に引き継ぐ必要がある。また、次世代を担う子どもたちを対象に川の生き物調査を行うことで地域の自然の豊かさを発見し継承する意識を芽生えさせるためにも事業継続の必要がある。	評価責任者 塚本昭広
----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	環境調査監視事業		所管課 【2】	環境整備課							
			作成者(担当者)	松野 宏昭							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当						
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全									
	施策区分	(2)河川環境の保全									
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市の河川を美しくする条例、玉名市環境基本条例、総合計画 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 公害防止に関する協定書 】 <input type="checkbox"/> 該当なし										
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			款	4	項	1	目	4	細目	3

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	河川等の水質汚染や土壌、大気汚染などの環境汚染問題が発生した地点の経過を監視することは環境対策のひとつであり、市の責務である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、事業所
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	環境汚染問題が発生した地点や発生する恐れがある地点について、定期的に調査・監視することで、問題の早期発見を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【      年度】    【 H17 年度から】    【      年度～      年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【      】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【      】		
事務事業の具体的内容 【14】	河川の水質検査を実施し、水質の経年変化を把握。水環境の保全施策に役立てる。特定工場排水の調査、監視を実施し適正な排水を促す。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ① 河川水質検査業務 ② 工場排水土壌検査業務 ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	420	393	393	421	
	【16】 小計	420	393	393	421	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.08	0.08	0.08	0.08	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	438	418	434	436			
合計	858	811	827	857			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 河川水質検査業務	河川の水質検査を実施する。 (岱明地区8か所×6回、 天水地区6か所×2回)	検査回数	回	8	8	8	8
② 工場排水土壌検査業務	特定工場排水の調査、監視を実施する。 (2事業所)	検査回数	回	2	2	2	2
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 工場排水土壌検査異常箇所数	調査を行い異常があった箇所数	所	0	0	0	0
			0	0	0	
2 異常箇所調査及び指導率	調査及び事業者指導した箇所/調査結果に異常があった箇所		100	100	100	100
			100	100	100	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 妥 当 性 )	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 市が実施するよう法令等で義務づけられていないが、市民の共有財産である美しく豊かな河川を次代へ引き継いでいく責務がある。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 現状必要なし。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 異常が発生した場合、市民の生活や活動等に影響を及ぼす恐れがある。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 調査結果に異常がなかったため。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 検査回数について検討の余地がある。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり これ以上執行過程の簡素化・改善について検討の余地はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現状検討の余地はなし。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業がない。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担はなじまない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	河川水質検査の採水地点を変更したことで令和2年度の採水不可件数は大きく減少したが、令和3年度は河川の水量が少なく採水ができなかった地点が2か所あった。自然要因と思われるが、今後も継続した検査ができるか注視していく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	昨年度と同様、河川の水量が少なく採水ができなかった地点が2か所あった。自然要因と思われるが、今後も継続した検査ができるか注視していく。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	昨年度と同様に採水ができなかった場合は、課内や業者等と協議し新たな採水地点を探す等の対応を検討する必要がある。今年度も継続して採水検査ができるか注視していく。検査回数については検討する余地があり、地元区長と協議する必要がある。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	評価責任者
河川の水質検査や特定工場の排水調査、周辺河川等の水質及び土壌の調査・監視を継続して実施することで、公害の発生防止や早期発見のために必要な事業である。	塚本昭広



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 菊池川流域同盟事業	菊池川流域水質保全のための啓発事業実施(河川水質・事業所排水検査、フラスコ・メサ・ホタル調査)	活動回数	件	5	5	5	5
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 河川水質基準達成率(BOD)	基準達成箇所/調査箇所(18箇所×2回)※別表2生活環境の保全に関する環境基準(河川)参照	%	100	100	100	100
			97	100	100	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性 )	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 市民の共有財産である美しく豊かな河川を保全し、次世代へ引き継いで行くためには市が推進すべき事業である。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 現状必要ない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり 即時影響がでることはない。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 調査箇所のすべてにおいて環境基準を満たしている。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 現状適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 事業見直しの検討内容によってはコスト低減につながる。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現状必要ない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現状活用している。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現状余地はない。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担はなじまない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	【24】	(前回のふりかえりの内容) 菊池川流域同盟発足時と比べ、下水道や合併浄化槽の普及などにより河川水質は向上しており事業の一定の効果があつたと認識している。啓発イベント等については、時代に即した内容にするなど見直しを検討する必要があるが、河川環境の適正な保全を維持するため事業としては継続していく必要がある。
		(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 菊池川流域同盟発足時と比べ、下水道や合併浄化槽の普及などにより河川水質は向上しており事業の一定の効果があつたと認識している。啓発イベント等については、時代に即した内容にするなど見直しを検討する必要があるが、河川環境の適正な保全を維持するため事業としては継続していく必要がある。事業の一部見直しについては審議中である。
今後の方向性	【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容		河川環境の適正な保全を維持するため事業としては継続していく必要がある。今後は各構成市町と協議し、事業についても見直しを検討する必要がある。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	河川環境の適正な保全を維持するため各構成市町と連携し、事業を継続していく必要がある。	評価責任者
【26】		塚本昭広

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	用悪水路整備事業		所管課【2】	土木課
			作成者(担当者)	田中 久勝
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり		
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全		
	施策区分	(2)河川環境の保全		
重点 施策【4】	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当なし			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 河川法、土地収用法、道路法 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【    】【 款 8 項 3 目 2 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	住居地域における衛生環境の悪化した悪水路の改修を行い、排水の円滑な流れを確保するとともに衛生的な生活環境を築く必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	臭気や蚊、蝇等の発生を軽減し、衛生的な生活環境を整備する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【    年度】    【 H17 年度から】    【    年度～    年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【    】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【    】		
事務事業の具体的内容 【14】	排水路を整備することにより、雑草や土砂の蓄積を防ぎ、排水のスムーズな流れを確保する。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(5)本 ① 用悪水路整備事業 ② 用悪水路整備委託事業 ③ 排水路整備に伴う機械借上事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	40,301	37,300	50,600	48,000	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,645	13,220	18,824	17,000	0
	【16】 小 計	44,946	50,520	69,424	65,000	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	1.30	1.50	1.80	1.70	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小 計	7,119	7,835	9,772	9,267			
合 計	52,065	58,355	79,196	74,267			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 用悪水路整備事業	生活排水路の改良を行う。	工事発注箇所数	箇所	4	6	3	7
② 用悪水路整備委託事業	生活排水路の改良を委託で行う。	委託発注件数	件	3	2	7	6
③ 排水路整備に伴う機械借上事業	軽微なものに対し、機械借上料を支給する。	機械借上件数	件	3	0	4	1

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 整備延長数	施工延長	m	166	505	483	850
			140	508	149.8	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必 妥 当 性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 当初工事発注を予定していたが、昨今の異常な豪雨等により築地地区、山田地区の冠水調査を優先して行った為。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 用悪水路の整備を進めるうえで細事業の構成は適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり より経済的な工法を検討している。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 昨今の異常な豪雨等により冠水調査における現地測量・調査等の手間が新たに要する事となってきている為。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 測量設計、地質調査は、ほぼ設計コンサルタントに委託している。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似事業無し。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)
	今後も湛水箇所把握及び工事等を行い、排水のスムーズな流れを確保していく。
今後の方向性 【25】	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	R4年度は、築地地区・山田地区の2地区の冠水調査を行い、湛水箇所の把握ができた。また、3年前から進めている中尾地区・中地区の排水路整備工事も順調に進捗しており、排水のスムーズな流れを確保できた。他の地区も同様。
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的な内容 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
	玉名市内で最も浸水被害が多い境川流域においては、引き続き工事を進めていく。また、中地区・中尾地区だけでなく、R4年度で冠水調査を行った築地地区・山田地区も県の境川改修工事に合わせて、測量設計を発注し、下流域から工事を着手していく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	市民の生活環境改善に寄与する事業であり、今後も継続して事業を推進していく。	評価責任者 田上 幸二
----------------------	---------------------------------------	----------------